

慶應言語学コロキウム

日本語文法から言語理論へ

[企画] 北原久嗣(慶應義塾大学)

[司会] 内堀朝子氏(日本大学)

[講師] 村杉恵子氏(南山大学)・斎藤衛氏(南山大学)・宮本陽一氏(大阪大学)
瀧田健介氏(明海大学)・越智正男氏(大阪大学)・岸本秀樹氏(神戸大学)
高野祐二氏(金城学院大学)・杉崎鉦司氏(関西学院大学)
藤井友比呂氏(横浜国立大学)・多田浩章氏(福岡大学)

[日時] 2017年5月13日(土)・14日(日) 各回10:30~17:30

[会場] 慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

*参加費無料・事前申込不要(会場にて参加者カードへの記入が必要となります)

国立国語研究所共同研究プロジェクト「言語の普遍性及び多様性を司る生得的制約：日本語獲得に基づく実証的研究」(2010~2014)に参加したメンバーが重ねた研究成果が、昨年秋、開拓社より『日本語文法ハンドブック』としてまとめられ、刊行されました。このハンドブックは、文構造、文法格、省略、移動(スクランブリング)、作用域など多岐に亘るトピックについて、統語論と言語獲得論の両面からアプローチする内容を含んでいます。本ワークショップでは、メンバーが各章の内容を概観した上で、今後の研究に向けた議論を提示します。